

VI. 情報提供

1. 原稿依頼

1 - 1

刊行物名	内 容 (執筆者)	依 頼 者
「広報 波佐見」 (窯業技術センター コーナーに毎月掲 載)	<ul style="list-style-type: none"> ○4月号 (兼石哲也) 4月からのセンター組織 ○5月号 (兼石哲也) 2004ながさき陶磁展の開催/セミナー開催の報告 ○6月号 (兼石哲也) 新人紹介/研究成果発表会の案内 ○7月号 (永石雅基) 平成16年度第1回研究成果発表会の開催 ○8月号 (永石雅基) 平成16年度第2回研究成果発表会の開催/「特許電子図書館検 索セミナー」開催の案内 ○9月号 (矢野鉄也) 「陶&くらしのデザイン展2004」で金賞を受賞 ○10月号 (桐山有司) 研究業務の紹介「コンピュータを利用したデザイン開発」 ○11月号 (兼石哲也) 焼物と印刷(スクリーン印刷の利用)/一般公開の案内 ○12月号 (山下行男) 窯業技術センターの一般公開を開催 ○1月号 (永石雅基) 技術普及交流会の開催 ○2月号 (矢野鉄也) セミナー開催の報告/案内(2005ながさき陶磁展の作品募集) ○3月号 (兼石哲也) 「長崎県美術館」の壁面照明陶板の完成/講習会の案内 	波佐見町

1 - 2

刊行物名	内 容 (執筆者)	依 頼 者
「やきものプロ 養成講座」の陶 磁器製造工程	<p>A4版、14ページ 第4章波佐見焼のできるまで</p> <p>1. 陶磁器の種類と特徴、2. 陶磁器の製造工程、3. 製土、 4. 石膏型作成、5. 成形、6. 乾燥・素焼、7. 下絵付、 8. 施釉、9. 本焼成、10. 上絵付 (大串邦男、兼石哲也、矢野鉄 也、久田松学、秋月俊彦)</p>	波佐見焼 振興会

2. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
情報誌 KAMA「窯」	業務紹介、技術情報お知らせ	A 4 版、6 ページ 発行月：22号(6月)、23号(3月) 発行部数：1,500部/回
業務報告	組織、施設概要、試験研究、技術支援、依頼 試験、共同研究等の業務実績報告	A 4 版、96ページ 発行月：7月 発行部数：400部
研究報告	試験研究業務の詳細な報告	A 4 版、58ページ 発行月：12月 発行部数：400部

3. 外部機関への情報提供及び技術協力

(1) テレビ・ラジオ報道

機 関 名	内 容	報道年月日	担 当 者
佐世保有線テレビ (TVS) 長崎国際テレビ (NIB) 長崎文化放送 (NCC) 日本放送協会長崎 放送局(NHK) 波佐見有線テレビ	2004ながさき陶磁展三川内会場(取材)	平成16年4月21日 平成16年4月22日 平成16年4月30日	矢野鉄也 兼石哲也
ラ ジ オ (NBC)	「県庁タイムス」収録、放送	平成16年11月18日 (放送平成16年11 月24日)	山下行男
長 崎 放 送 (NBC)	UPるトゥデイ「Nagasaki生き生き体験」 において、トンネル用エコタイル、磁器と ガラスの融合による製品、光触媒を紹介	平成17年1月12日	大串邦男 狩野伸自
佐世保有線テレビ (TVS)	技術普及交流会(佐世保市)について紹介	平成17年1月19日	大串邦男
長 崎 放 送 (NBC)	共同技術開発の「ドロップ」(ガラスと磁 器の融合化製品酒器)を紹介	平成17年2月2日	矢野鉄也
日 本 テ レ ビ	半乾燥生地を焼成した場合の破裂について 透視炉観察	平成17年3月13日	山口英次

(2) 新聞報道

機 関 名	内 容	年 月 日
西日本新聞 長崎新聞 読売新聞 毎日新聞 長崎新聞 西日本新聞	「2004ながさき陶磁展」審査結果の発表と展示会案内 (三川内展)	平成16年4月10日 平成16年4月13日 平成16年4月14日 平成16年4月22日
広報波佐見 No. 499	館山堂と窯業技術センターが磁器とガラスを融合した器を共同開発。	平成16年4月14日
西日本新聞	カキ殻から水質浄化剤 大村湾の水質浄化のため、カキ殻を用いた、水質浄化剤の開発と実用化実験の継続。	平成16年7月24日
西日本新聞	磁器とガラスの融合 共同技術開発 (館山堂) 窯業技術センターとの共同開発による、磁器とガラスの融合製品を商品化。	平成16年8月3日 ～4日
陶業時報社	窯業技術センターと館山堂との共同技術開発により磁器とガラスの融合製品「ドロップ」を開発。	平成16年8月5日
長崎新聞	窯業技術で「海藻の根」守れ 無機系廃棄物を利用した、海藻の根を防護する海底ブロックの開発。	平成16年8月8日
西日本新聞	陶磁器くずで人工藻場 県窯業技術センターと県総合水産試験場の連携による、陶磁器くずを利用した人工藻場開発。	平成16年8月18日
長崎新聞	陶&くらしのデザイン展 象嵌陶板など金賞 象嵌陶板や倒れにくい花器等、全国公設陶磁器試験研究機関の研究成果発表会「陶&くらしのデザイン展2004」で金賞受賞。	平成16年10月13日
陶業時報社	やきものプロ養成講座開講 やきもの文化の知識と理解を深め、販売時に魅力を伝えてもらおうと、市場の接客実務のプロ (全国各地から26人が参加) を養成する講座を開講。	平成16年10月25日
長崎新聞	「研究成果利用して」企業と交流会 幅広い分野でセンターの研究成果を利用してもらうため、技術普及交流会を長崎で開催。	平成16年11月11日
長崎新聞	窯業技術センターの施設を一般公開。 体験コーナーでは、手びねりや、絵付け、えとの置物作りが人気。	平成16年11月30日

機 関 名	内 容	年 月 日
長 崎 新 聞	知事が若手研究員を招いて懇談会 県研究機関の横断的な連携プロジェクトに参加する研究者による研究内容や進捗状況の報告と質疑応答。	平成16年12月16日
長 崎 新 聞	県立大学・県立研究機関連携フォーラム 県立大学と研究機関の相互理解を図り、共同研究による地域貢献を進める狙いで開催。	平成16年12月18日
陶業時報社 月刊「公募ガイド」 季刊「つくる陶磁郎」	2005ながさき陶磁展の作品募集	平成17年1月15日 平成17年3月9日 平成17年3月26日
長 崎 新 聞	全国むらおこし展金賞 共同技術開発（館山堂） 窯業技術センターと共同開発による磁器とガラスを合わせた器が「全国むらおこし展」金賞ふるさと賞に輝く。	平成17年1月26日
佐 賀 新 聞	「倒れにくい花器」など、窯業技術センターで研究中の作品を紹介	平成17年2月26日
オレンジページムック （㈱オレンジページ）	「長崎やきもの町めぐり」の特集の中で、窯業技術センターと企業で共同開発した製品（石玉盆栽、KAZAN、透し彫照明具等）を紹介。	平成17年2月28日

4. ホームページによる業務紹介

目 的	業務や活動内容の広報
ア ド レ ス	http://www.crcn.jp/ ※平成17年4月1日よりアドレスを以下に変更。 http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/
アクセス件数	トップページへのアクセス数： 17,449 総アクセスページ数： 86,045 (期間：平成16年4月1日～平成17年3月31日)

・サイトマップ

